

NIHとEPA、小型大気汚染物質センサー設計コンペの実施を発表（6月6日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）傘下の国立環境健康科学研究所（National Institute of Environmental Health Sciences : NIEHS）、厚生省（Department of Health and Human Services）国家医療IT調整室（Office of the National Coordinator for Health Information Technology）及び、環境保護庁（Environmental Protection Agency : EPA）の3機関は6月6日、大気汚染物質を検知するパーソナルセンサーの設計コンペ「大気と健康チャレンジ（My Air, My Health Challenge）」を実施すると発表した。

本コンペは、医療分野の研究者と技術者の協力を促し、大気汚染と健康に関する理解を深めることを目的としている。

設計されるセンサーは、①個人の使用を前提とし小型で容易に携帯可能なデザインであり、②化学汚染物質や微粒子状の汚染物質などのデータを測定するとともに、心拍数や呼吸など汚染物質に対する生理的反応を計測できるものでなければならない。

本コンペでは、最大4件が最終選考に進み、これら4件には、それぞれ賞金1万5,000ドルが授与され、設計に基づいた試作品を製造し実証試験を行う機会が与えられる。

また、これら4件のうち、大気汚染と健康の関係を長期的に研究するに当たり最も効果的なデザインと認められた1件に対しては、さらに10万ドルの賞金が与えられることになっている。

National Institute of Health, NIH, EPA announce competition for personal air pollution and health sensors

<http://www.nih.gov/news/health/jun2012/niehs-06.htm>